

藝文学苑 オープン講座

伯爵・香川敬三の生涯

ー水戸藩の郷土から明治宮廷へー

講 師 石井 裕（学習院大学史料館客員研究員）

香川敬三は、明治時代に皇后の側近トップとして大きな権勢をふるった人物です。幕末水戸藩の郷土の家に生まれ、いわゆる志士として尊王攘夷運動に奔走する中、後の元勳・岩倉具視と出会ったことで一気に飛躍し、明治時代には宮内省の高級官僚として活躍しました。近年では、皇后の洋装兼通訳の女官となった娘の志保子と共に、皇室の近代化（欧風化）に大きな貢献をしたことが注目されています。



本講座では、学習院大学史料館が所蔵する香川家史料（2万5千点超）の研究成果をもとに、香川敬三の人間像や飛躍の過程、旧水戸藩の顕彰等に果たした様々な功績、そして史上初の「皇后のスタイリスト」となった娘志保子の事蹟について紹介します。

回	月日	テーマ
1	11/7	幕末の香川敬三
2	11/21	皇后を支えて
3	12/5	旧水戸藩の顕彰～県内に残る記念碑から～
4	12/19	皇后のスタイリスト・香川志保子

曜 日／土曜
時 間／13：30～15：00
回 数／4回
受講料／4,400円（税込）
会 場／水戸教室